

# 山口敏子 議員

清流クラブ

## 通学路に対し更なる安全対策の充実を

問

市には現在、3中学校区、8小学校区あり、中学校は自転車通学のため、学校周辺道路は歩道が広く、自転車も通行できるように整備されつつある。

一方、小学校の通学路は、まだまだ整備が進んでいない状況を踏まえ尋ねる。

(1) 白鳥小学校区域の子宝愛西線は、大型ダンプ、大型トラック、通勤乗用車等、通行量が多い車道の横に、高さ20センチの縁石で隔てられた歩道という大変危険な状態である。

この県道は、登下校時は子どもたち、さらには地域

住民が生活道路としてい

る。より安全に通行できるようガードレールを取りつけることはできないか。

(2) 車、人双方とも注意を促すためにも、学校、保育所周辺にはカラー舗装をしてはどうか。

### 点検結果を踏まえ 順次整備を進める

答 土木課長

(1) 24年度に通学路の交通安全に向けた緊急合同点検を実施し、通学路の歩道の現地確認をしたところである。

本年度より点検結果を踏

まえ、交通安全対策を必要とする箇所に防護柵の設置、通学路看板の改修や路面標示など、順次整備を進めている。

指摘箇所は県道のため、愛知県へ要望する。


(2) 危険箇所や通学路などで、カラー舗装や交通安全を促す文字、ドットマーク（ー）を設置している。

小学校、保育所の周辺においてもカラー舗装や路面標示など、危険箇所に対応した安全対策を順次進める。

## 弥富市内にも 平成の命山を

問

避難タワーの耐用年数は50年といわれている。

また、市有地の有効活用と合わせ考えると、ふだんは公園、防災教育の場所として市民に開放し、有事のときは避難場所として使える平成の命山（）の造成をしてはどうか。

静岡県袋井市で造営されている平成の命山のこと。

25年11月18日付、中日新聞特集記事参照。  
25年12月21日竣工

### 現時点では、建物へ 避難の方針である

答 防災安全課長

当市は軟弱地盤であり、土盛りをした場合、土圧により隣接地盤の隆起の可能性がある。

現段階では建物へ避難する方針の変更は考えていない。



▲県道子宝愛西線